

令和4年度 椎葉村立椎葉小学校 学校評価

1 教育目標

「ふるさとの自然に学び、互いに伝え合い、たくましく生きる椎葉小の子どもの育成」

2 評価の視点

(1) 児童の様子 (2) 学校経営について (3) 家庭・地域との連携

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

【4段階評価 A…できている B…大体できている C…あまりできていない D…できていない】

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価
		達成状況	具体的な方策・改善策結果等	
児童の様子	椎葉小の児童は、安全に気を付けて登下校することができますか。	A	交通安全教室や登校班会等、継続した指導を行ったことにより、交通ルールを守ることができた。	A
	椎葉小の児童は、元気な挨拶や気持ちの良い返事をする事ができていますか。	B	返事をする事ができない場面が多く、次年度継続した取組を行い、改善を図る。	B
学校経営について	椎葉小は、意欲的に学習できる取組を行っていると思いますか。	B	ICTを効果的に活用しながら、児童の実態に応じた授業を行い、学力向上を目指す。	B
	椎葉小は、豊かな心の育成及び事故やいじめ、不登校の未然防止の取組を行っていると思いますか。	B	担任、生徒指導主事、養護教諭、管理職が関係機関と連携を図りながら、不登校改善に取り組むことができた。	B
	椎葉小は、意欲的に健康な体づくりができる取組や感染症予防の取組を行っていると思いますか。	B	コロナによる制限が徐々に解除され、体育指導では十分な運動量を確保することができた。今後、さらに外遊びを推奨し、体力向上を図っていく。	A
	椎葉小は、家庭や地域と連携しながら、椎葉村のよさや伝統文化について学ぶ教育活動を行っていると思いますか。	B	学校行事や総合的な学習の時間等の見直しを図るとともに、椎葉学に向けた共通理解に努めた。	B
	椎葉小は、キャリア教育、ICT教育など、時代のニーズに合った教育を行っていると思いますか。	B	主題研をを通して、ICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を活用した授業改善に取り組むことができた。	B
	椎葉小は、学校便りや学級通信、ホームページ、安心メール等をとおして、迅速で適確な情報発信をしていると思いますか。	B	学校だよりの発行やホームページの更新に加え、安心メールを活用し、迅速に情報を発信することができた。	A
家庭・地域との連携	保護者は、家庭教育や社会教育の重要性を認識して、児童へ教育する役割を果たしたり、親子で地域行事に参加したりしていると思いますか。	B	家庭学習の仕方を発信したり、児童の心の成長を伝えたりするなど、学校との連携や協働が今後も必要である。	B
	保護者は、学校教育に対する理解を深め、連携したり協力したりしていると思いますか。	B	積極的に関わってくださる保護者が多く、今後も、子どもたちと一緒に育むという共通意識をもって進めたい。	B
【学校運営協議員による意見】				
○ 時々、学校のホームページを見て、子どもたちの元気な姿を見て、楽しませてもらっている。今後も、情報発信に心がけてほしい。				
○ あまり、学校の状況を知る機会がなかった。コロナも第5類となるため、今後は、学校参観等、子どもたちの様子を見る機会をたくさん設定してほしい。				